

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	令和8年9月3日	決裁	令和	年	月	日
議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	担 当	担 当	文書取扱主任					

第 8 回 議 会 改 革 特 別 委 員 会 会 議 録

開催年月日		令和8年7月16日（木曜日）		開会 13 時 14 分		閉会 13 時 36 分	
開催場所		第二・第三委員会室					
出席委員		柴田、安樂、寄谷、藤田、堀、関藤、田村				事務局	和田事務局長
		議長、副議長					壽崎次長
欠席委員		なし					林主事
説明員		なし					
議 件		別紙のとおり					
議 事 の 概 要	1 議員定数及び議員報酬について						
	・議員定数について各委員から意見を聴取し、次回委員会で採決を行うことに決定した。						
	・議員報酬については、資料をもとに次回委員会から議論を進めることに決定した。						
	2 その他について						
	なし						
	3 次回委員会の日程について						
	7月31日（金）午前10時00分から開催することに決定した。						
	上 記 記 載 の と お り 相 違 い ない。 議会改革特別委員長 柴 田 文 男 ㊞						

第8回 議会改革特別委員会

R8.7.16 (木)総務文教常任委員会終了後

第二・第三委員会室

開 会 13:14

委員長 ただいまより、第8回議会改革特別委員会を開会いたします。

委員動静報告

委員長 委員動静であります。全員出席をいただいております。議長、副議長に出席をいただいております。傍聴で高橋議員、好川議員、福井議員、荻野議員が出席しております。報道として、株式会社北海道新聞社の取材を許可しております。

1 議員定数及び議員報酬について

委員長 それでは早速、議員定数及び議員報酬についての項目について、皆さんにお諮りしたいと思います。

議員定数については、これまでも数多くのご議論をいただきましたが、本日まで特別委員会全体の総意をもって一定の定数を示されたという過程はございませんでした。現在までに、議員定数2名削減、議員定数1名削減、定数削減なし、この3つのご提案がございました。本日については、最終的な各会派の皆さんのご意見をまず拝聴いたしまして、その後の議論についてお諮りしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、新政会さん。

副委員長 新政会といたしましては、毎回言っておりますが、まず無投票選挙を避ける、そのことと、あと人口減少、それから市役所自体の組織も昔から見たら縮小されている、そういうところを加味して1名減ということであります。

委員長 それでは、市民ネットワークさん。

(「定数問題だけですか」と言う声あり)

関 藤 一応、私どもは現状維持ということはそのまま変わらない状況ではあります。今新政会さんのほうから1名減ということの説明を受けました。私も今日は各会派から出てくる1名減なら1名減、2名減なら2名減の説明根拠を聞いて、私の会派は次回に最終判断をしようと思っていたので、今まで1名減、また2名減、その根拠というのはどこも示されていない。また、報酬の件もそうです。これこれというのは出てきていましたけれども、その根拠というのはどこにも示されていないので、今日皆様方からそういったどういう理由でこうなんだという根拠を聞かせていただいた中で、私どもは次回に最終判断をさせていただきたいなと思っております。

委員長 それでは、会派清新であります。私の方からお話を申し上げたいと思います。当初、議員定数2名削減を皆さんにご提案させていただきましたが、最終的には定数1名減をしていきたいと、こういう考えを現在持っております。その根拠なんです。現在、来年の統一地方選挙に向けて各自治体の議会が定数問題の議論を重ねております。その中で、やはり人口減少が非常に厳しい自治体、さらに議員報酬が十分ではない自治体の中に、議員定数を削減して無投票を回避しようという自治体議会が数多く存在している。まだ結論が出ていない議会も数多くありますが、そういった意味においては、滝川市議会においてもこれまでの経過を含めて議員定数1名削減をする中で来期の選挙を迎えたいというのが根拠であります。以上です。

堀

それでは、公明党さん、お願いします。

毎度話していますけれども、議員定数は2名減というふうになっています。その根拠は、やはり民間で働いている方は当然厚生年金があって、老後が保障されているというのがありますけれども、我々も議員年金というのがありましたけども、18年、19年前くらいになくなりました。そういうことを考えると、本当に質のいい議員を結集するためには生活の安定と老後のことも考えていくことが必要だろうと。それと、滝川市の人口も減っていきますので、2名減をしたからってそんなに各議員に負担はかからないだろうと、そういう根拠からです。

委員長
寄 谷

それでは、日本共産党さん。

私は現状維持でいくべきだと考えています。その理由は、前回もお話したのですが、議員定数が30名のときには議員一人当たりの人口数というのは1,700人くらいでしたけれども、その後定数が減る中で、現在人口数が2,000人くらいに一人の議員ということで、人口の減り方以上に議員定数というのは減ってきているように感じますので、そういった意味ではまだ定数を減らすのは早いというふうに考えるのが1つです。

あと、無投票の回避ということもありましたけれども、これについては、人口が減っている以上に投票率が半分、50パーセント台ということで、投票率が低いことが問題ではないかなというふうに感じます。ですので、この投票率を上げる、母数を増やすということでいけば、立候補も増えてくるのではないかと思いますので、定数減ではなくて有効投票数、投票者数を上げるということに工夫をすべきかなというふうに思いますので、定数減については反対だということです。

委員長

他に意見をお持ちの方いらっしゃいますか。

(なしの声あり)

委員長

ちょっと休憩いたします。

休 憩 13:21

再 開 13:32

委員長

それでは、休憩前に引き続き、会議を再開させていただきます。

市民ネットワークのほうから先ほどご意見がございました。今回の議論を会派に持ち帰って、最終的に譲歩できることがあれば次回譲歩する案についてお披露目をしたいと、このようなお話がありました。

ということで、もしよければ次回の委員会で採決をしていきたいと考えておりますが、そのことについてご意見を伺いたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委員長

それでは、議員定数についてはそういう形といたしたいと思います。

次に、議員報酬についてであります。今日議員報酬について事務局のほうで作成していただいた、議員報酬の内容と今後検討を進めるに当たっての基本的概念、考え方、それと議員活動に必要な政務活動費とはこういうようなものをいうんだよということで、資料としてご提案をいただいております。今日これをご議論するということにはなりませんので、それぞれ持ち帰ってしっかり目を通していただいて、次回以降、議員報酬のことについてはご議論をさせていただきたいと思います。

それと、各会派でもしできれば皆さんそれぞれの政務活動、今回この資料にも

関 藤
委 員 長

書いてありますので、それぞれどの程度の経費が日常的にかかっているのかということについて、簡単に結構ですので、次回までにまとめていただきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

報酬の件も次回採決してしまうのですか。

議員報酬はまだです。初期議論です。まずはこれを皆さんしっかり頭に入れていただいて、今後議論をしていきたいと思います。

こういう取り進めでいきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委 員 長

それでは、議員報酬についてはそのように今後取り進めたいと思います。

2 その他について

委 員 長

次に、その他についてであります。皆さんから何かございますか。

(なしの声あり)

委 員 長

議長、副議長、何かございますか。

(なしの声あり)

3 次回委員会の日程について

委 員 長

次回委員会の日程については、31日金曜日であります。10時から本会場で開催するということでよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委 員 長

以上をもちまして、第8回議会改革特別委員会を閉会いたします。
お疲れさまでした。

閉 会 13:36

第8回 議 会 改 革 特 別 委 員 会

日 時 令和8年7月16日(木)
総務文教常任委員会終了後
場 所 第二・第三委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶(委員動静)

1 議員定数及び議員報酬について

2 その他について

3 次回委員会の日程について

○ 閉 会